

長崎開港450周年記念連携補助事業が決定



来年度、長崎開港450周年を迎えるにあたり、県内に拠点のある団体などを対象に長崎港の魅力を伝えたり、海を楽しんだりする取り組みやイベントを募集し、40件の応募の中から10件の事業を決定しました。

体験型セミナーやダイビングの模擬体験、グルメイベントなど選ばれた事業(右欄のとおり)を通じて、子どもから大人まで楽しみながら長崎港の魅力に触れることができます。今年4月から始まる催しなどに参加して、みんなで港の節目をお祝いしましょう!

■問い合わせ 開港450周年事業推進室(☎829-1282)

長崎開港450周年記念連携補助事業

- ◆令和3年度長崎ハタ揚げ大会(株式会社長崎新聞社)
- ◆「ながさき開港450周年史跡めぐり」(仮題)に関する書籍出版(株式会社長崎文献社)
- ◆VRで長崎港を観光しよう(Kanaloaカナロア)
- ◆出島少年伝習所～観光丸編～(出島VOF代表団体 長崎自動車株式会社)
- ◆親子体験学習「長崎UMIアカデミー」(長崎サンセットマリーナ株式会社)
- ◆海中探査ロボットで長崎の海をのぞいてみよう!!～組立式ROV教室とROV競技会～(長崎総合科学大学 海洋・スポーツ文化センター)
- ◆長崎開港450周年記念特別企画展「長崎とみなと(仮題)」(株式会社イズワークス)
- ◆出島の魅力再発見演劇で綴る「出島物語」(長崎市演劇協会)
- ◆Sea級グルメ九州大会 in NAGASAKI(みなとオアシスNAGASAKI運営協議会)
- ◆長崎開港450周年記念 海洋教育フォーラム～長崎から世界へ、海でつながる長崎と世界～石黒鎮雄博士がつなぐ英国と長崎(仮称)(海洋教育フォーラム長崎地区(長崎開港450周年記念海洋教育企画)実行委員会)

長崎市科学館 入館者350万人達成



科学館では楽しみながら科学の不思議に触れられます

12月19日、長崎市科学館の累計入館者数が350万人を達成し、記念セレモニーを執り行いました。350万人目の入館者となったのは、修学旅行で同館を訪れた熊本県天草市立牛深小学校6年生の児童と職員の皆さん。認定証と記念品を受け取った児童たちは嬉しそうに「とてもいい経験になりました」と語り、長崎での旅行の思い出として持ち帰りました。

科学館では1年を通してさまざまな催しを行います(今月の催しは28ページに掲載)。

■問い合わせ 生涯学習課(☎829-2044)

美化活動が楽しくなる 「長崎ごみぶくろ」



最優秀賞のイラストを印刷したごみ袋が3月末に完成予定

長崎市「街を美しくする運動」推進協議会が、子ども用のボランティア清掃用ごみ袋「長崎ごみぶくろ」のデザインを募集し、12月23日、18校356作品の中から最優秀賞1作品、優秀賞3作品を表彰。

最優秀賞は、坂本龍馬が「ポイ捨てはいかんぜよ!」と呼び掛けている大園小5年生の山下征大さんの作品。山下さんは「この袋で、長崎の街が美しくなってほしい」と思いを語りました。完成したごみ袋は市内の小・中学校に配布し、まちの美化活動に役立てます。

■問い合わせ 廃棄物対策課(☎829-1159)